

編集後記

＊先回のニュースを発行してからはや3か月以上が経ちました。光陰矢の如し。毎日があっという間に過ぎてしまいます。8月は、何とんでもあいちトリエンナーレで「表現の不自由展・その後」の企画中止事件です。中止の決定の報を受け、翌4日には愛知芸術文化エンターの入り口で抗議行動を開始しました。この事件は、表現の自由を守れ！ということが第1ですが、その根底には歪曲された歴史認識の問題、今だ清算されていない日本帝国主義の戦争責任、植民地支配の問題、そして天皇制の問題があると思います。行動が先行していて議論は深まっていませんがいずれ突き当たるのではと思います。 ＊7月、沖縄高江への愛知県警機動隊派遣違法訴訟の会の証人尋問が2日間に渡って行われました。あれから3年。できもしない辺野古の工事は着々と進み、高江の環境破壊、生活破壊は続いています。11月11日は結審で年度内判決の予想。＊5月、韓国へ「独立運動スタディーツアー」に行ってきました。植民地支配関連だけではなく、民主化運動関連の記念館もいくつか回りました。日本との大きな違いは、「記録と記憶」をしていること。独立運動と民主化運動を闘ってきた（今も・・・）の民衆の力の結晶か。報告集ができました。自賛ですがよくできています。1冊300円。ぜひ一読ください。 ＊今号は、関西生コンの弾圧問題と徴用工問題に端を発する日韓関係の問題も寄稿していただいた。本当に息苦しい世の中です。陳腐な言い方かもしれないけれど、正しいことが通らない、正義が行われていないと心から思う。安倍政権がこんなに長く続くとは、まさに悪夢。韓国で「安倍NO!」の声をあげていることに忸怩たる思いがある。日本でこそだ！ ＊第4次安倍再改造内閣の布陣を見るとため息が出る。よくもまあこんなメンツを揃えたものだ。 ＊19日は共同行動の集会・デモ、22日は「表現の不自由展・その後」の再開を求める愛知県民の会の集会とデモ。 私たちの意思を表現しましょう！ 忙しいけど頑張るしかない(#^.^#)